

団体名	公益社団法人 北海道国際交流・協力総合センター						
事業名	留学生ふれあい交流 in いぶり						
実施期間	令和2年11月7日(土)～8日(日)						
場 所	白老町、洞爺湖町						
参加者数	外国人留学生	その他外国人	日本人学生	地域住民	スタッフ 大学関係者	その他 (来場者等)	合計
	21			12	3		36名

### <実施内容>

#### ○アイヌししゅう体験とウポポイ訪問(1日目)

参加留学生21名は、札幌から約100kmに位置し、約16,300人の人口を抱える白老町を訪れ、「みんなの心をつなげる巨大パッチワークの会」の先生たちに教えてもらい、アイヌししゅうを体験し、その後は今年7月にオープンした「ウポポイ」を訪問した。

パッチワークの会は日本や海外で作られたアイヌ文様のししゅうで、様々な文化と一緒に生きていくことを目指し活動をしている団体で、今までも海外の学生等との交流を続けてきた。今回参加する留学生のほとんどがししゅうをするのが初めてで、最初はぎこちない手つきで針を進めていたが、先生たちがやさしく教えてくれ、なんとかししゅうを完成し、自分が作った作品に満足していた。最後は先生たちと留学生全員で記念の写真を撮り、その笑顔からアイヌ文様のししゅうを通じて、参加した人たちがお互いを理解し、仲を深められたことが伝わってきた。

午後には、今年7月にオープンした「ウポポイ」を訪れ、アイヌの方々の歴史を博物館で学んだり、アイヌの歌と踊りをみて、ダイナミックにアイヌ文化に触れたり、一日を通してアイヌの歴史や文化のたくさんの魅力に触れる貴重な一日となった。

#### ○有珠山噴火の歴史や地域防災を学ぶ(2日目)

洞爺湖有珠山ジオパークは、平成21年に日本で初めての世界ジオパークに認定され、また、有珠山は17世紀以降9回の火山活動を繰り返してきた活火山であり、地質や地形、災害で壊れた古い建物、防災の施設などを通して有珠山と人間の歴史を知ることができる場所である。

午前には、洞爺湖ビジターセンターで湖の周りにいる動物や植物について学び、火山科学館では有珠山の歴史や噴火のメカニズムを学んだ。午後には、地元のガイドの案内で、火口の周りにある散策路を見学。20年前に実際に起きた噴火の被害を目で見ることで、自然災害と共に生きる洞爺湖町の地域防災等の取り組み等について知る機会となった。

### <記録写真>



アイヌ文様ししゅうを教えてもらう



自分で作ったししゅうを手に全員で記念撮影



ガイドの案内で噴火でこわれた建物を見

### <参加者からのコメント>

カーヌーン シャムスーンさん(バングラデシュ)/KARNOON SHAMSOON サン ホイ ティンさん(香港)/TSANG Hoi Ting

It was an excellent event arranged by HIECC. Everything was so perfect. If I get the opportunity in future, I want to attend this kind of trip again.  
All the members were very friendly and cooperative. I made many friends from this trip.  
It's a very good opportunity to learn about Hokkaido's wonderful nature, their culture and memorizing beauty.  
People from the different region of world should know about the beauty of Hokkaido.

I have also joined a similar event in 2019. I think this year is of much more fun than last year since we get more time to interact with each other. I enjoy the introduction of the volcano field trip a lot which inspired me to pay more attention on the hidden culture.